

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	生物応用化学入門	
科目基礎情報						
科目番号	0015		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	生物応用化学科		対象学年	1		
開設期	通年 (隔週)		週時間数	1		
教科書/教材						
担当教員	楠部 真崇,岸本 昇,土井 正光,綱島 克彦,米光 裕,奥野 祥治,河地 貴利,スティアマルガ デフィン,西本 真琴,森田 誠一,舟浴 佑典					
到達目標						
この科目は、生物応用化学科で習得するための基本的知見と技術について、講義形式で授業を行うものである。全15週の内、7週の授業が、製薬・化学・化粧品・研究・コンサルティング等の企業で業務していた教員がオムニバスで担当する。この科目は学修単位科目のため、授業毎に自学自習のためのレポート課題を課します。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
生物応用工学科で実施されている研究について理解できる	実施している研究について内容を調査し、必要性を説明できる。	実施している研究について内容を調査し、自分の言葉で話しができる。	実施している研究について内容を調査できない。			
基礎科目の重要性を理解できる	研究に必要な基礎科目を理解し、取り組む努力に繋げられる。	研究に必要な基礎科目がわかる。	研究に必要な基礎科目を理解し、取り組む姿勢が見られない。			
学科の到達目標項目との関係						
B C-1 C-2						
教育方法等						
概要	この科目は、生物応用化学科で習得するための基本的知見と技術について、講義形式で授業を行うものである。全15週の内、半数程度が、製薬・化学・化粧品・研究・コンサルティング等の企業で業務していた教員が担当する。					
授業の進め方・方法	毎回、各研究室の教員が研究内容と技術や知見の可能性を講義する。また、取り組んでいる共同研究を紹介し、研究のシュミレーションを行う。					
注意点						
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	(1)ガイダンス (楠部 : 4/12)	生物応用化学科で習得すべき知見と技術の理解		
		2週				
		3週	(2)研究紹介 (楠部 : 4/26)	研究のアウトラインを理解する		
		4週				
		5週	(3)研究紹介 (米光 : 5/17)	研究のアウトラインを理解する		
		6週				
		7週	(4)研究紹介 (デフィン : 5/31)	研究のアウトラインを理解する		
		8週				
	2ndQ	9週	前期中間試験期間			
		10週	(5)研究紹介 (森田 : 6/21)	研究のアウトラインを理解する		
		11週				
		12週	(6)研究紹介 (岸本 : 7/5)	研究のアウトラインを理解する		
		13週				
		14週				
		15週	(7)研究紹介 (綱島 : 8/2)	研究のアウトラインを理解する		
		16週				
後期	3rdQ	1週	(8)研究紹介 (奥野 : 10/2)	研究のアウトラインを理解する		
		2週				
		3週	(9)研究紹介 (土井 : 10/18)	研究のアウトラインを理解する		
		4週				
		5週	(10)研究紹介 (野村 : 11/1)	研究のアウトラインを理解する		
		6週				
		7週	(11)研究紹介 (林11/22)	研究のアウトラインを理解する		
		8週	後期中間試験期間			
	4thQ	9週	(12)研究紹介 (河地 : 12/13)	研究のアウトラインを理解する		
		10週	(13)研究紹介 (西本 : 12/20)	研究のアウトラインを理解する		
		11週	(14)研究紹介 (舟浴 : 1/17)	研究研究のアウトラインを理解する		
		12週	(15)ガイダンス (楠部 : 1/24)	まとめ		
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		発表	課題	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		25	25	50	
分野横断的能力		25	25	50	